



平成 19 年度「ひと、輝くまち 倉敷。」
市民企画提案事業の評価等について

答 申

平成 20 年 3 月 21 日
倉敷市市民企画提案事業審議会

平成 19 年度「ひと、輝くまち 倉敷。」
市民企画提案事業の評価等について（答申）

目 次

	頁
市民企画提案事業審議結果	1
委員名簿	12
参考資料	
(1) 諮問書	13
(2) 倉敷市市民企画提案事業審議会条例	14
(3) 「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業実施要綱	16

倉敷市市民企画提案事業審議会は、倉敷市が実施した平成19年度「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業の実施結果の評価と同事業のうち平成20年度に継続事業として応募のあった提案事業について、審査を行う機会を与えられました。

平成19年度実施事業の評価と平成20年度に継続事業として応募のあった提案事業を審査するにあたり、評価の対象となるのは平成19年度採択決定の19事業であること、また、そのうち継続事業として10事業の応募があったことを確認した後、事業評価と継続事業審査の基準について議論を行いました。

その結果、事業評価については、当初の目的に沿った内容であったかどうかなど公益性、協働性や波及効果などの観点で審査しました。また、次年度への継続事業審査については、事業継続の効果、事業内容の発展性などの審査基準に基づき審査しました。

評価にあたっては、事業成果報告書、協働事業評価書の内容を吟味し、公開の事業報告会での発表内容と質疑応答を踏まえ、事業の成果の検証に努めてきました。

結果として、事業の4段階評価（評価得点によりS・A・B・C）では、S評価に至った事業はありませんでしたが、A評価の事業は16件、B評価の事業は3件、C評価の事業は0件で、全事業が相応の成果を挙げているとして評価したところです。

また、継続事業の審査対象となった10件については、全てが採択基準点を超えるという審査結果となりました。講評については、「平成19年度実施提案事業の成果評価・講評」に併記させていただきました。

最後になりますが、倉敷市市民企画提案事業の実施に努力していただき、更には評価、審査に係る質問等に対しても丁寧に対応して下さった各関係者の皆様に、心よりお礼を申し上げます。

平成20年3月21日

倉敷市市民企画提案事業審議会

会 長 鈴 井 江三子

評価・審査にあたっての考え方

審議会では、「ひと、輝くまち 倉敷。」市民企画提案事業の評価・審査にあたり、公平性を保つため、実施事業の関係者となる委員は、その事業の評価・審査を外れることとした。

評価・審査の項目、配点及び評価区分は下表のとおりとし、評価区分は得点によりS・A・B・Cの4区分で表すこととした。また、継続事業の採択基準得点は評価得点が50点以上、継続審査得点が20点以上を得点した事業とした。

評価・審査得点は、各委員の持ち点を評価得点が100点、継続審査得点が40点とし、評価・審査それぞれに、合計点から最高点及び最低点を差し引いた得点の平均点とした。

事業評価 < 評価項目及び配点 (100点満点) >

評価項目		評価のポイント	配点
公益性	目的 (公益性) (緊急性) (重要性)	事業の目的が達成されているか。 (達成されている) (ある程度達成されている) (あまり達成されていない) (達成されていない)	20
		不特定多数の者の利益の増進に寄与するなど公益性の高い事業となったか。	
		事業の緊急性・重要性など課題の解決に結びついているか。	
事業の成果	事業内容 (計画性)	事業内容の達成度合はどうであったか (達成されている) (ある程度達成されている) (あまり達成されていない) (達成されていない)	20
		期待される成果があがっているか。 当初の目的に沿った事業内容が計画どおり実施されているか。 実施時期が適切であり、十分な準備期間・手段が取られていたか。 当初計画の参加者、出席者、利用者数などが達成されているか。	
	費用負担	事業収支は適切であったか。 費用対効果は、どうであったか。	10
	人材配置	事業実施にあたり人的資源(技能・能力等)は充分であったか。 ボランティアスタッフや他の団体を巻き込んで実施されていたか。	10
協働性	協働性	市民団体と行政が協働で取り組むことにより、効果的な事業となったか。 提案団体と市の役割分担が明確かつ妥当で、それぞれの役割を果たしていたか。 役割分担を果たすための協議が十分になされ、相互理解ができていたか。	20
波及効果	(独自性) (将来性)	他の団体(行政を含む。)に先駆けた内容若しくはモデルとなる事業となったか。 事業への理解が得られ発展・普及性がある事業となったか。	20
評価区分		S (期待された成果を十分に達成) …………… 90点以上 A (期待された成果を一定以上達成) …………… 70点以上90点未満 B (期待された成果を一応達成) …………… 50点以上70点未満 C (期待された成果が達成されていない) …… 50点未満	

継続事業審査 < 審査項目及び配点 (40点満点) >

継続の必要性	継続の有効性	事業継続することにより、前年以上の効果が見込めるか。 提案団体と担当課の双方が、事業継続の効果が高いことを見込んでいるか。	20
	事業内容の発展性	19年度の事業実施結果を基に、事業内容のステップアップ等を行い、事業の発展性が見込まれるか。	10
	費用負担の適正	予算配分は適切であるか。 経費節減を図り、無駄のない予算となっているか。 自己資金の調達は担保されているか。	10

平成 19 年度実施提案事業の成果評価・講評

1 市民提案部門（継続分）

事業名	ホタルの棲息できる自然環境の復元	評価：A
実施団体 市担当課	倉敷ホタル愛好会 環境政策課	
提案事業 概要	ホタルが繁殖できるよう河川を整備すると共に、ホタルの幼虫を飼育し放流する。6月にはホタルの観賞会を開き、ホタルの乱舞する自然の美しさを多くの人々に味わってもらおう。	
講評	<p>ホタルを通して自然環境を復元する活動は、自然環境の保全だけでなく地域の活性化や子どもたちの環境保護意識の醸成を図るうえでもきわめて意義のあるものである。講演会や放流会など地域住民や他団体との交流により自然保護意識の啓発にも寄与している。</p> <p>飼育スタッフの増加や資金調達方法を含めた継続的な飼育システム構築を検討されるようお願いする。また、河川改修計画については、関係機関と協議し、台風等自然災害を予測した計画となるように配慮されたい。</p>	

事業名	地域の歴史・文化の保存，継承	評価：A
実施団体 市担当課	中庄の歴史を語り継ぐ会 文化財保護課	
提案事業 概要	地域の歴史はそこに住む人たち皆の「財産」である。その地域の歩みを記録にとどめ後世に伝える作業は、現在を生きる私たちの役割である。大切な遺産を住民皆の力で次代の人に手渡して行きたい。	
講評	<p>都市化が進むなかで地域の歴史が忘れられていくということは、後世の時代にとって残念なことである。本事業は、郷土の歴史への関心を高めるための貴重な活動である。講演会やセミナーが延べ5回開催され、沢山の参加者が中庄地区の様々な歴史を学んでいる。</p> <p>事業の継続により、地域の歴史についてより多くの人々が学び、若い年齢層にも継承されていくことが期待される。</p>	

事業名	障害児者と高齢者に対して地域活動支援事業	評価：A
提案団体 市担当課	特定非営利活動法人 いちご一会 玉島保健福祉センター福祉課 真備分室	
提案事業 概要	障害児者と高齢者が交流することで障害児者に社会性が身に付くことを期待、高齢者には得意分野で講師役をしてもらい生き甲斐づくりの手伝いをする。啓発活動として福祉講演会を開催する。	
講評	<p>施設を出て地域に帰った障がい児・者が地域の中で輝きながら安心して暮らせるための交流サロン事業は、今日の障がい者の置かれた状況からみて、有効な活動として評価される。また、福祉講演会は、ホールいっぱいの集客があり、真備地域の人々の障がい者への理解に有効であった。</p> <p>交流サロンは、常時、障がい者や高齢者の集える場所としての役割を担う場所であり、継続事業として期待するところである。IT教室の運営については、障がい者・高齢者の特質・要望を考慮した計画を立て実施するよう要望する。</p>	

事業名	「テーブルまび」に向けて	評価：A
実施団体 市担当課	特定非営利活動法人 岡山マインド「こころ」 玉島保健福祉センター 真備保健推進室	
提案事業 概要	真備町の中で「障害」の当事者・家族を中心に据えて、お互いの違いを知り合い、「身近な顔の見える」つながりを基に、「テーブルまび」の設立に向けて、話し合いと、協同企画を実施する。	
講 評	<p>本事業は、障がいのある人たちの自立を促すためにきわめて意義のある活動である。障がい者の集まる「出会おう、そして語ろう」ミーティングも予定通り開催され、参加者も一定数確保されている。「一緒につくり上げよう」イベントは出演予定者の都合で内容修正があったが、当事者からメッセージが発信されている。</p> <p>ミーティングと自己紹介イベントは障がい者の社会化の場として貴重であり、当事者から地域住民への発信を継続し、参加者が拡大し、自立支援協議会の設立に繋がることが期待される。</p>	

事業名	IT-ボランティア育成講習会の実施	評価：A
実施団体 市担当課	ボランティアグループ IT-ふたば会 情報政策課	
提案事業 概要	IT-ボランティア育成講習会を契機として、情報化社会に望まれる、基礎的事項を指導出来る熱意を持ったボランティアの育成を図る。指導内容はインターネット・メールの利用・賀状などの簡単な文章の作成である。	
講 評	<p>ユビキタス社会においてITCへの市民の関心は高く、地域住民のITCリテラシーの向上に寄与する本事業の目的はきわめて時期にかなったものである。受講生17名のうち14名が支援者としてパソコン勉強会の支援を行っており、所期の目的を果たしている。</p> <p>受講希望者は潜在していると思われるので、事業継続にあたっては、広報活動を工夫され、スタッフの負担軽減も考慮しながら実施することで、事業の拡大を図ることが期待される。</p>	

事業名	高齢者軽スポーツリーダー養成講座	評価：A
実施団体 市担当課	特定非営利活動法人 スポーツライフ '91天城 高齢福祉課	
提案事業 概要	高齢者が健やかに老いる手段として、手軽に出来る軽スポーツを紹介し、自分たちに適したスポーツを見つけ、日々の生活の中に取り入れていただくことを目的とする。	
講 評	<p>健やかに老いる社会の実現のために、高齢者に軽スポーツを普及させるといふ、この事業の意義はきわめて高い。講座も計画に従って開催され、参加者も予定を上回り、団体での活動に取り入れるまで至った事例もあった。</p> <p>事業継続にあたっては、新たな種目の検討や参加者の募集方法を工夫され、多様な軽スポーツが地域で普及することが期待される。</p>	

事業名	サンクトペルテン姉妹都市提携 50 周年記念 オーストリア・くらしき現代美術交流展	評価：B
実施団体 市担当課	倉敷文化環境を考える会 美術館	
提案事業 概要	平成19年5月29日から6月3日まで倉敷市立美術館で倉敷側作家10人とオーストリア側作家13人で交流展を開催。期間中、来日作家によるギャラリートークなど市民との交流行事を実施予定。	
講 評	<p>民間による芸術活動での国際交流をめざした意義のある事業である。6日間の現代美術交流展には一定数の市民が鑑賞した。交流展と併せて来日オーストリア出品者との市民交流も行われるなど、現代美術を通しての国際交流に寄与したものである。</p> <p>日本・オーストリアの違いと共通点を認識する機会として、ギャラリートーク・対談会などの市民交流事業の企画を充実させ、一般市民により広く周知することを期待するものである。将来的には、倉敷在住の若手芸術家が参加出来る事業となることを期待する。</p>	

事業名	中心市街地の安全・安心・案内を目指す「倉敷天領見廻り組」の創設	評価：A
実施団体 市担当課	倉敷再生まちづくり計画を実現する会 市民活動推進課	
提案事業 概要	中心市街地の見廻りを実施し、公園等公共施設の実態、廃屋等の危険箇所や素晴らしい景観・施設などの情報を更新しネットで発信できる体制をつくる。	
講 評	<p>「安全・安心・案内」をスローガンに倉敷の中心市街地や美観地区周辺を見廻りする本事業は、関係者の熱心さと使命感が伝わるものであった。ホームページでの危険箇所の告知など、情報提供に工夫が見られた。</p> <p>危険箇所の解消や落書き消しなど、問題箇所の解決に向けて地域住民や諸団体との協働実施を検討するなど、地域密着型活動として定着することが期待される。</p>	

事業名	花あふれる街玉島	評価：A
実施団体 市担当課	特定非営利活動法人 21世紀の環境づくりを進める会 公園緑地課	
提案事業 概要	爪崎西より作陽大学間の歩道・緑地帯を植栽し、年間を通じ管理する。児童も含め地域で花の種から苗を育て、花あふれるまちづくりをする。	
講 評	<p>本事業は、種から育てた苗を地域住民に配布し、環境への意識を高めることを目的として実施しているが、配布市民の増加や花の移植作業への参加が増大するなど、市民に少しずつ浸透していることは評価できる。また、新倉敷駅周辺の地域住民に環境美化の意識啓発をする上でも本事業は有効である。</p> <p>地元町内会・企業・大学など地域での連携を図ると共に、補助金に依存しない「花あふれる街玉島」の実現に向けての体制づくりが課題である。</p>	

2 行政提案部門（継続分）

事業名	倉敷川の水辺に親しむ環境教育・水辺の再生事業	評価：A
実施団体 市担当課	蔵おこし湧々 下水計画課 合併浄化槽設置推進室	
提案事業 概要	カワセミやホタルの住める川づくりのための講演会やシンポジウムを開催するとともに、倉敷川的美観地区を中心に、水辺の生き物調査、親子水辺教室を実施し、継続的に倉敷川の清流保全のための市民活動を普及する。	
講 評	<p>行政からの「市民の視点による気づき」により下水道や合併浄化槽の整備効果の検証や市民満足度の把握をテーマとして実施した事業である。事業対象の倉敷川は市中心部を流れる貴重な自然環境の一つであり、本事業の実施により、倉敷川周辺の生き物の棲息など川をとりまく環境、水質、美観などへ理解が深まった。</p> <p>事業継続により、一層の市民目線での倉敷川周辺の水質改善による市民満足度が高まることが期待されるとともに、環境保全に向けての市民意識の啓発に有効である。</p>	

3 市民提案部門（終了分）

事業名	川田麿江資料解読整備事業	評価：A
実施団体 市担当課	川田麿江資料を読む会 玉島図書館	
提案事業 概要	幕末・明治期に活躍した倉敷市玉島出身の川田麿江資料を解読し、その人物と業績を広く倉敷市民に知らせるとともに、全国の研究者、歴史愛好家などにも利用できるものを作る事業である。	
講 評	<p>倉敷市出身の漢学者川田麿江資料を解読することは、倉敷市民が郷土の偉人を知り、郷土に誇りと愛着を持つことにつながる事業であった。広報紙やケーブルテレビの紹介により、会員が増加し、古文書の解読が出来る人材養成も進んでいることを評価する。</p> <p>解読資料の活用については、行政サイドでインターネットでの公開について調整中とのことであるが、冊子だけでなく電子データとして全国の研究者等から利用できるようにすることが望まれる。</p>	

事業名	鬼復活活動を通じての子どもたちの健全な育成と地域 活性支援事業	評価：A
実施団体 市担当課	堀南青年の会 市民活動推進課	
提案事業 概要	堀南青年の会活動の広域化と深耕により、子育てや地域活性化を推進する。鬼面制作を通じ家族の絆を深め達成感を醸成すると共に、祭りへの参画は地域活性化に通じる。更に、鬼太鼓は住民への安らぎと活力を与える。	
講 評	<p>本事業は、鬼復活活動として地域の子どもたちと鬼面製作を行い、それを通して地域の祭りに参加し、家族や地域との連携を深めていくものであり、地域コミュニティの活性化に寄与したと考える。また、太鼓演奏を含めた「鬼びょうたん」は保育園や小学校からのイベント依頼も多く、活動の拡大が伝わり今後の展開が期待される。</p>	

事業名	鷺羽山の景観を考え環境を保護する事業	評価：A
実施団体 市担当課	鷺羽山の景観を考える会 都市計画課	
提案事業 概要	鷺羽山の景観を維持するため、倉敷市民を対象とした清掃活動や松などの樹木の剪定また、自然教室や観察会を実施し活動を展開する。	
講 評	<p>鷺羽山から見た瀬戸内海の景観を維持するため、眺望の障害になっている樹木の剪定やボランティアによる下草刈りや清掃活動は、地元の観光資源を再発掘する意味で意義のあるものであった。また、親子を対象とした自然教室等の開催は自然保護への理解を促す上でも意義のあるものであった。</p> <p>継続提案の申請はなかったが、眺望の維持保全を市民レベルで継続することであり、地域住民の景観保護意識の向上が期待される。</p>	

事業名	「みずしま夢koi・koi!」の踊りで地域交流 ふれあいづくり事業	評価：A
実施団体 市担当課	水島おかみさん会 水島支所産業課	
提案事業 概要	水島地域を活性化させる手段として、水島港祭りなどで、この「水島夢koi」を水島商店街から地域に広める。様々なイベントで住民と一緒に踊ることで、住民相互の一体感を醸成していく。	
講 評	<p>本事業は、水島地域を活性化させる手段として、水島港まつりなどで、「水島夢koi・koi!」踊りを水島商店街から地域に広めるものであった。シニアバージョンやキッズバージョンが創作され、幼少から高齢者までの幅広い年齢層で踊れるように工夫された。様々なイベントで住民と一緒に踊ることで、地域の連帯感を深め、水島地域の活性化にも役立っていたといえる。</p> <p>継続提案の申請はなかったが、地元大学生などの参加により活動の幅が広がりがつたので、地元で「水島夢koi・koi!」が認知され、踊り継がれることが期待される。</p>	

事業名	男女共同参画社会の実現をめざす意識の向上と 啓発事業	評価：B
実施団体 市担当課	イーブくらしきネットワーク 男女共同参画課	
提案事業 概要	「昭和・平成*くらしきの歩み そして未来へ」～歌声とコントで伝える男女共同参画～と題し、時代の変遷を映像で映しながら「たましま歌声喫茶」と歌い、イーブくらしき座を見て感じる。講演会では小松泰信教授に学ぶ。	
講 評	<p>本事業は、男女共同参画事業としての啓発活動を行うものであり、倉敷の歴史的写真を背景に、男女の平等意識を歌とコントで伝えるものであった。また、講演も大勢の参加者を得ることが出来ていた。今回の事業による開催は1回のみであったが、事業終了後も継続した男女共同参画社会実現に向けての啓発活動が期待される。</p>	

事業名	倉敷の伝統舞踊を通じて地域の活性化を図る事業	評価：B
実施団体 市担当課	特定非営利活動法人 倉敷栄美寿会 高齢福祉課	
提案事業 概要	倉敷の伝統的な傘踊り等の舞踊を通じて高齢者と触れ合い活力を与えてあげたい。又健康にすぐれない高齢者の自宅を訪問し相談に乗ってあげたり自立を助けることで地域の活性化に繋げていく。	
講 評	本事業は、傘踊り等の舞踊を通じて、施設に入所中の高齢者とふれあい、活力を提供するものであった。また、自宅で暮らす高齢者を招待した憩いの家での事業も実施された。これらの活動を通じて慰問される側だけでなく、活動をする側も遣り甲斐や生きがいを感じている事業内容であったといえる。	

事業名	演劇を通じた子育て支援事業 ～ よい子にいっぱい笑顔～	評価：A
実施団体 市担当課	倉敷市立短大子どもの劇場 文化振興課	
提案事業 概要	子どもの心の糧となる劇や人形劇を製作し、親子が楽しみながらふれあい、感動を共有して育ち合うことを通して、子育て支援の一端を担う。	
講 評	本事業は、短大の学生が中心となって、子どもの情操教育となる劇や人形劇を製作し、親子が楽しみながらふれあい、感動を共有して育ち合うことを通して、子育て支援の一端を担う事業であった。公演活動の回数も多く、公演規模も大小様々な規模で実施し、地域に根ざした事業であり、評価できるものであった。 この事業は、学生の地域貢献活動として高く評価するが、地域資源である大学と行政の連携について課題を残したことを残念に思う。	

事業名	トワイライトスクール事業	評価：A
実施団体 市担当課	倉敷市立第二福田小学校 P T A 生涯学習課	
提案事業 概要	既存の学童保育では対象とならない、高学年の学童保育、待機児童の学童保育、都度（必要時のみ）の学童保育及び、地域のボランティアによる教室等の開催。	
講 評	本事業は、既存の学童保育外の子ども達を対象にした、放課後保育、都度の保育、及び下校待機児童の保育であり、地域住民のニーズを積極的に具現化した事業として評価できるものであった。また、地域からのボランティアも多数参加して地域ネットワークを形成する役割も担ったと考えられる。 来年度以降は、当該学区で実施予定の市事業「放課後子ども教室」を利用することで概ねの対象者のニーズが満足されるとのことであり、所期の事業目的は達成したと思われる。	

事業名	海底ゴミ問題を通じた市民意識の啓発事業	評価：A
実施団体 市担当課	財団法人 水島地域環境再生財団 市民活動推進課	
提案事業 概要	平成18年度実態把握調査に基づき、海底ゴミ問題とその対策の必要性を訴える広報素材を作成・活用する。倉敷の海の環境と漁業への理解を深めるため、漁業体験学習等を実施する。	
講 評	<p>本事業は、深刻な環境破壊に直結する海底ゴミ問題とその対策の必要性を訴えるものであった。漁業体験学習は、海底のゴミを知るだけでなく、倉敷の海の環境と漁業への理解を深めるためのものであり、次世代の問題意識を促す上で意義深いものであった。</p> <p>平成18年度からの調査結果に基づいた広報パネルが、環境問題の啓発素材として市内各所で活用されることが期待される。</p>	

平成20年度継続提案事業の審査結果

継続事業採択基準得点は、平成19年度事業実施評価得点が100点満点で50点を超える得点で、継続審査得点が40点満点で20点を超える得点を得た事業とした。

今回は、全ての継続提案事業が採択基準点を超えていた。いずれの事業も、実施にあたっては平成19年度の成果を踏まえ、具体的事業計画を立てるべきと考え、先の成果評価・講評に併記したところである。

<採択基準点数に達した継続提案事業>

部門等	提案事業名	提案団体名
市民提案部門 (2年目)	ホテルの棲息できる自然環境の復元	倉敷ホテル愛好会
	地域の歴史・文化の保存, 継承	中庄の歴史を語り継ぐ会
	障害児者と高齢者に対して地域活動支援事業	特定非営利活動法人 いちご一会
	「テーブルまび」に向けて	特定非営利活動法人 岡山マインド「こころ」
	IT-ボランティア育成講習会の実施	ボランティアグループ IT-ふたば会
	高齢者軽スポーツリーダー養成講座	特定非営利活動法人 スポーツライフ '91天城
	オーストリア・くらしき現代美術交流展	倉敷文化環境を考える会
市民提案部門 (3年目)	中心市街地の安全・安心・案内をめざす 「天領見廻り組」の創設	倉敷再生まちづくり計画を実現する会
	花あふれる街玉島	特定非営利活動法人 21世紀の環境づくりを進める会
行政提案部門 (2年目)	倉敷川の水辺に親しむ環境教育・水辺の再生 事業	蔵おこし湧々

審 査 総 評

今回の事業報告会においては、事業を成功させようとする各提案団体の熱意は十分感じられたが、慣れない行政への事務手続きへの悪戦苦闘ぶりも見えた。また、いくつかの提案団体では、提案当時の現状分析を十分にしていたものの、不測の事態の発生により当初の事業計画の実施に苦慮する事態もあったが、地域住民や提案団体の懸命な努力により事業目標が達成でき、市民の結集力が実った事業として評価したところである。

継続事業として申請があったのは全事業19件のうち約6割にあたる10件であった。昨年が4割であったことから、継続提案制度が周知され、利用しやすくなったものと言える。

また、市民企画提案事業として継続提案のなかった9件の提案団体についても、平成20年度以降も提案事業を何らかの形で継続実施するとの報告があり、提案事業の発展性が期待される。

総じて、市民団体の活動内容のレベルアップが図られたことは評価するところであるが、さらに活動を拡大するためには、より多くの人を巻き込み感動させる工夫が必要と思われる。

前回は指摘したことであるが、協働する上で必要不可欠な提案団体と担当部署とのコミュニケーションの難しさは、引き続き課題として残っている。提案団体と行政が事業目的を共有し、双方の立場を理解し、役割と責任を分担し協働することが、市民企画提案事業実施の前提と考える。特に、複数の部署が関わる事業の場合は、組織内の連携が難しい場合もあり、提案団体の行政に対する協働への評価が低く、また、職員の協働に対する意識改革が求められると考える。

こうしたことから、市民企画提案事業は、市民団体等の新たな公共の担い手が創出され、協働による行政運営の機運が醸成されるまでには、未だ解決すべき課題は多いが、市民団体と行政の協働の試行段階において意義の深い取り組みとして評価するものである。

倉敷市市民企画提案事業審議会委員名簿（50音順・敬称略）

	氏 名	所 属 等
	あさ はら ま ゆみ 浅 原 真 弓	玉島おかみさん会 代表
	あ だち れい と 安 達 励 人	倉敷市立短期大学 准教授
	か とう きよ つぐ 加 藤 清 次	倉敷商工会議所 総務部長
副会長	しら かし ひさし 白 檉 久	ノートルダム清心女子大学 教授
会 長	すず い えみこ 鈴 井 江三子	川崎医療福祉大学 教授
	つち や ひとみ 土 屋 瞳	男女共同参画フォーラム2000まび 代表
	ひら い ひろ あき 平 井 弘 明	倉敷市議会 議長
	みち ひろ りさぶろう 道 広 利三郎	市民公募委員
	もり ひろ のぶ ゆき 森 廣 伸 之	岡山県備中県民局協働推進室
	もり や み ゆき 守 屋 美 雪	市民公募委員
	もり わけ とし あき 森 わけ とし あき 森 分 敏 明	倉敷市議会 総務委員会委員長